邦寿会
since 1921

2024年度 事業計画

2024年度　環境変化

1．法人の置かれた環境

① 2024年介護報酬改定、児童福祉法改正

② 介護・保育の人材不足が益々深刻化

③ 高齢者施設待機者の減少

④ 物価・人件費の上昇

⑤ 児童・高齢者への虐待の増加

⑥ 地域福祉活動への期待の高まり

2. 環境変化対応

① 2024年介護報酬改定－収入を最大化
（要介護度、加算取得、科学的介護LIFE対応）

② 介護・保育機器、ICT機器の活用

③ 要介護度Ⅲの入居者数、要支援者へのサービス提供数

④ コスト意識、介護・看護の適正配置

⑤ 介護・保育のスキルアップ、重大事故ゼロ、虐待ゼロ

⑥ 地域作りの推進

事業活動方針
創業者の思い（理念追及）と経営安定の両立を目指す

■2024年度重点課題

【収入】

① 2024年介護報酬改定に対応し、収入を最大化

② 安定的収入の確保

③ 新規事業の運営（どうみょうじ短時間デイなど）

④ 科学的介護の実践（LIFE対応）

【ご利用者サービス】

⑤ 介護・保育のスキルアップ

⑥ 重大事故の発生回数ゼロ、児童・高齢者虐待ゼロ

【人材確保・育成】

⑦ 職員の確保

⑧ 新人事・給与制度の導入

⑨ ICT等テクノロジー機器の活用

【地域作り】

⑩ 高齢者の権利擁護と介護予防、地域の子育て支援

⑪ 地域の子育て支援（子どもの困難への対応）

2024年度　事業方針および重点課題

創業者の思い（理念追及）と経営安定の両立を目指す

○関連部署、◎主体部署→	高	ど	つ	西	事
1. 経営の安定					
① 2024年介護報酬改定に対応し、収入を最大化	◎	◎			
② 安定的収入の確保			◎	◎	◎
③ 新規事業の運営	◎	◎			○
④ 科学的介護の実践（LIFE対応）	◎	◎			○
2. サービス					
⑤ 介護・保育のスキルアップ	◎	◎	◎	◎	○
⑥ 重大事故ゼロ、児童・高齢者の虐待ゼロ	◎	◎	◎	◎	◎
3. 人材					
⑦ 職員の確保	○	○	○	○	◎
⑧ 新人事・給与制度の導入	◎	◎	◎	◎	◎
⑨ ICT等テクノロジー機器の活用	◎	◎	◎	◎	○
4. 地域作り					
⑩ 高齢者の権利擁護と介護予防	◎	◎		◎	◎
⑪ 地域の子育て支援（子どもの困難への対応）	◎	◎	◎	○	◎

経営の安定

①②収入の最大化、安定的収入確保

●各サービス稼動率向上（待機者、契約者・登録者確保）
加算拡充、科学的介護の実践
●つぼみ－140名定員確保、特別支援児童受入
●包括－予防ﾌﾟﾗﾝ対応

③新規事業の運営
④科学的介護（LIFE対応）

●どうみょうじ－短時間デイ（訓練特化型）
居住支援法人
ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽC型検討
●科学的介護

サービス

⑤介護・保育のスキルアップ

●ユニットケアの充実、ユニットリーダー研修実地施設への体制整備、マイスター制度、口腔ケアスキルアップ（全国大会参加）」－介護スキル評価目標達成
●つぼみ－利用者に選ばれる保育園
子ども主体、豊かな感性、人権保障する保育実践
保育スキル評価目標達成

⑥重大事故ゼロ、児童・高齢者虐待ゼロ

●重大事故－人間違い誤薬、窒息、介助骨折、虐待発生防止
●虐待－置き去り防止、身体拘束、回復可能性阻害
●研修・訓練

人材確保・育成

⑦職員の確保・育成

●指定高校との連携、実習受入
　西浦支援学校と連携、実習受入
●保育・介護養成校との連携、実習受入
●大学生実習、インターンシップ受入
●経験採用
●コーチャー制度、フォロアップ研修
●サブリーダー職新設
●新人事制度

⑧新人事、給与制度の導入

●考課制度は2024年度
●給与反映は2025年度

⑨ICTテクロノジー機器の活用

●23年度までに導入機器の検証
●24年度導入機器再検討

サービス

⑩高齢者の権利擁護と介護予防

●外出機会の創出
●介護(予防)教室、公開セミナー、リズム体操、相談会
●居住支援法人活動

⑪地域の子育て支援(子どもの困難への対応)

●子育てサークル、ベビーマッサージ
　園庭開放
●高殿苑ひろっぱ、学習支援居場所作り
　こども食堂の食材支援
　不登校児支援検討
　高殿苑・つぼみ保育園-高殿5丁目食堂

邦寿会 損益計算書(2024年度予算案)

（単位:百万円／%）

科目		2023年度				2024年度		
		予算	見込	予算比	前年比	予算	見込差	見込比
収入		1,757	1,668	95	99	1,789	121	107
運営費	人件費	1,296	1,286	99	99	1,313	-27	102
	事業費	167	168	100	107	177	-10	106
	事務費	84	96	114	102	110	-14	114
	水道光熱費	97	86	88	90	83	3	96
	修繕費	9	23	257	217	11	12	49
	減価償却費	183	175	96	84	187	-12	107
計		1,836	1,833	100	98	1,881	-48	103
事業利益		-80	-165	(-85)	(+8)	-92	73	(+73)
施設整備等補助金収入		0	0	-	-	20	20	(+20)
支払利息		6	6	100	92	6	-0	102
その他収支		2	-5	(-7)	(-6)	-1	4	(+4)
経常利益(寄付金除)		-83	-176	(-92)	(+2)	-79	97	(+97)
寄付金		136	145	107	102	123	-23	84
経常利益(寄付金含)		53	-30	(-83)	(+5)	44	74	(+74)

※(　)は、予算差異・前年差異

収入・事業利益 施設別内訳(2024年度予算案)

（単位:百万円／%）

収　入	2023年度				2024年度		
	予算	見込	予算比	前年比	予算	見込差	見込比
高殿苑	884	846	96	99	899	53	106
どうみょうじ高殿苑	653	608	93	99	672	63	110
西部包括	58	58	99	96	57	-0	99
つぼみ保育園	161	156	97	96	161	5	103
合計	1,757	1,668	95	99	1,789	121	107

（単位:百万円／%）

事業利益	2023年度				2024年度		
	予算	見込	予算比	前年比	予算	見込差	見込比
高殿苑	16	-11	(-27)	(+10)	26	37	(+37)
どうみょうじ高殿苑	-90	-145	(-56)	(+3)	-108	38	(+38)
西部包括	2	-1	(-3)	(-5)	-1	1	(+1)
つぼみ保育園	-0	-0	(-0)	(+1)	-1	-0	(-0)
法人事務局	-8	-7	(+0)	(-1)	-9	-2	(-2)
合計	-80	-165	(-85)	(+8)	-92	73	(+73)

※(　)は、予算差異・前年差異

邦寿会 資金収支計算書(2024年度予算案)

（単位:百万円／%）

科目		2023年度				2024年度		
		予算	見込	予算比	前年比	予算	見込差	見込比
収　　入		1,757	1,668	95	99	1,789	121	107
支出	人　件　費	1,296	1,284	99	99	1,308	-24	102
	事　業　費	167	168	100	107	177	-10	106
	事　務　費	84	96	114	102	110	-14	114
	水道光熱費	97	86	88	90	83	3	96
	修　繕　費	9	23	257	217	11	12	49
計		1,653	1,657	100	100	1,689	-33	102
事業活動収支		103	11	11	27	100	88	869
施設整備等補助金収入		0	0	-	-	20	20	-
設 備 投 資		197	92	47	840	168	-76	183
借入金収入		0	0	-	-	300	300	(+300)
借入金返済支出		99	99	100	100	98	0	100
	(借入元金償還)	93	93	100	100	93	0	100
	(支払利息)	6	6	100	92	6	0	100
その他収支		2	-5	(-7)	(-6)	-1	5	(+5)
資金収支(寄附金抜)		-190	-184	(+6)	(-118)	152	336	(+336)
寄付金収入		136	145	106	101	123	-22	85
当期資金収支		-54	-39	(+14)	(-116)	275	314	(+314)

※(　)は、予算差異・前年差異

2024年度予算　設備投資計画　-3/20現在-

（単位:百万円）

施設	種類	2023年度 予算	2023年度 見込	2023年度 予算差	2024年度 予算	2024年度 見込差
高殿苑	①通常	0	4	4	1	-3
	②ICT	60	42	-18	14	-28
	施設計	60	46	-14	15	-31
どうみょうじ高殿苑	①通常	82	14	-68	125	111
	②ICT	49	24	-25	26	2
	施設計	131	38	-93	152	114
つぼみ保育園	①通常	2	0	-1	1	1
	②ICT	1	2	1	0	-2
	施設計	3	2	-1	1	-1
西部包括	①通常	0	0	0	0	0
	②ICT	3	3	0	0	-3
	施設計	3	3	0	0	-3
法人事務局	①通常	0	2	2	0	-2
	②ICT	0	1	1	0	-1
	施設計	0	2	2	0	-2
法人合計		197	92	-105	168	76

【主な設備投資（予算）】

①通常

どうみょうじ高殿苑

外壁塗装等工事　10.8百万円

GHP・CGS・LED更新　69百万円

つぼみ保育園

芝生整備　1.3百万円

②ICT等

法人全体

PC入替・追加　16.3百万円

介護ソフト更新　15.5百万円

どうみょうじ高殿苑

ナースコール更新　5.0百万円

邦寿会 手元資金(推移見込み)

■手元資金（推移見込）

（単位：百万円）

2021年3月末残高	2021年度資金収支	2022年3月末残高	2022年度資金収支	2023年3月末残高	2023年度資金収支	2024年3月末残高	2024年度資金収支	2025年3月末残高
450	4	454	76	531	-39	491	275	766

■借入金

（単位：百万円）

		2023年3月末残高	2023年度返済額	2024年3月末残高	2024年度返済額	2025年3月末残高	返済終了年度
既存分	高殿苑	646	46	600	46	554	2037年
	つぼみ保育園	170	12	158	12	146	2037年
	どうみょうじ高殿苑	185	35	150	35	115	2028年
	計	1,001	93	908	93	815	
新規分	どうみょうじ高殿苑	ー	ー	ー	ー	300	2045年
					合計	1,115	

邦寿会
since 1921

2024年度 施設方針

〈高殿苑〉2024年度施設方針

2024年度、コロナの影響もほぼ無くなってきた。

5月には高殿苑開設50周年を迎る節目の年度として、改めて地域のニーズに敏感になり、地域との交流を積極的に図っていく。

また、収入については、4月からの介護報酬改定について適切に対応していくと共に、計画的・積極的に営業活動し利用者を獲得、収入予算を達成し収益を確保する。

1. 安心・安全な生活
2. 積極的な地域との交流
3. 収益の確保

1.　安心・安全な生活

①　重大介護事故「０」、介護事故総件数の削減へ

a.重大介護事故を「０」　3件（2023）→　0件（2024）
b.総件数を前年の10%削減　192件（2023）→　172件（2024）
c.施設責任件数を前年の10%削減　88件（2023）→　79件（2024）

②　ご利用者満足度の向上

a.ご利用者満足度ｱﾝｹｰﾄの実施と新たな課題への取り組み
b.ｺﾛﾅ制限の撤廃（面会、外出食事、遠出遠足、外泊等）
c.災害訓練の実施

③　職員個々の技術・技能の向上

a.個々のｽｷﾙｱｯﾌﾟによるｻｰﾋﾞｽ力の向上
特養・ｼｮｰﾄ部門698点（2023）→705点（2024）
b.新卒入職スタッフの育成と独り立ち
c.学ぶ風土と伝達能力の向上　内外研修の受講、伝達研修の開催
d.各部署毎の改善取り組みと成果の共有（発表会の継続）

④　人材の定着、魅力のある職場づくり

a.ICT機器導入によるサービスの質向上と、職員の負担軽減（2023継続）
b.新人事制度に基づいた定期面談の実施
c.施設全体・部署別レクの実施

2.　積極的な地域との交流

①　地域向け介護教室・健康講座の開催

a.専門職による介護教室・健康講座を実施　1回（2023）→　2回（2024）

②　地域（居宅介護支援事業所）向け、施設見学・食事会の開催

a.地域住民・居宅介護支援事業所向けの施設見学・食事会を開催

地域住民向け　2回（2024）

居宅介護支援事業所向け　4回（2023）→　6回（2024）

③　地域事業所協働の活動

a.お買い物ツアー継続、認知症声掛け体験等

④　地域住民との交流

a.子ども食堂の継続　1回（2023）→　月1～増回（2024）

b.地域行事への参加

3.　収益の確保

①　収入予算の達成

a.計画的営業による新規利用者の獲得（訪問計画、チラシ作成、販促ツール）

②　適正支出

a.適正人員配置

〈どうみょうじ高殿苑〉
2024年度方針

ご利用者・ご家族・地域住民の声を受け止め、
全力で対応できる経営基盤と力を身に付け、
全世代から求められる総合福祉施設を目指す。

1. 施設満足度の向上

2. 経営の安定

3. チャレンジできる職場環境の醸成

Ⅰ 施設満足度の向上

(1)重大事故の発生防止(2022年度-2023年4-12月)

①人違い誤薬(2-1)・離設(1-0)・介助中の骨折(0-0)・窒息(5-0)⇒ゼロ

②介護原因事故(49-40)⇒10%ダウン

③気づきシート(418-854)⇒1200件(事故120件×10倍)

(2)ユニットケアの充実

①全利用者の「夢」を叶えるプロジェクト「燦SUNプロジェクト」の推進

②ユニットリーダー研修実地施設認定への体制整備

(3)介護技術の向上

①「介護スキル評価」の等級別目標の設定と全員達成

②福祉機器・用具の習熟度⇒「起居・移乗」「姿勢ケア」「ICT機器」マイスターの養成

(4)地域住民の権利擁護を目的とした社会貢献活動

①高齢者対象の「リズム体操」「藤井寺体操」「介護予防」「認知症」等のセミナー開催

②子ども対象の「高殿苑ひろっぱ」「学習支援」の居場所づくり、子ども食堂の食材支援

③高校生等(支援学校含む)対象の職場実習・インターンの積極的受入

2 経営の安定

（1）収入アップ・支出ダウン

①既存事業の運営・サービスの見直し　ⅰ施設：特養・GH・一般・特定

ⅱ在宅：ヘルパー・自費サービス、ショート・、デイ・、プラン・

ⅲ共通：厨房、医務、事務所

②新規事業の実施・稼働

ⅰ短時間デイサービス、ⅱ居住支援（、ⅲ通所型サービスC）

（2）BCPに必要な体制整備

ⅰ災害時：避難訓練（施設内、地域）、備蓄品の運用フロー

ⅱ感染症発生時：施設内対応フロー、疾患別往診医療機関との連携

（3）業務改善

①「介護分野の生産性向上」

②5Sの徹底による「QCD」「安全性」「モチベーション」向上（全部屋・全物品の担当制）

③接遇・マナーの向上（高齢者虐待・職員間ハラスメント・カスタマーハラスメント）

④スマホ、システム活用による記録・情報共有の効率化

3 チャレンジできる職場環境の醸成

（1）風通しの良い職場環境づくり

①自部署の「強み」「弱み」の自己・他者分析を通した魅力づくりと就職希望者への発信

②入職年度毎や横断的な職員交流（施設内他部署研修、Off-JT研修、懇親会）

（2）キャリア形成の体制整備

①経験者採用者へのコーチャー制度の拡充

②入職後のG長面談（2週間、1ヶ月、3か月、6ヶ月、1年）による目標の設定・共有

③全職員の育成計画の作成（1次・2次評価者と年2回の進捗会議）

（3）リラクゼーションを通したストレスケア

①職員や外部講師によるリラクゼーション教室の開催

②リラクゼーション機器の導入

（4）職員のやりたいことを叶えるプロジェクト

①職員のクラブ活動支援（ユニフォーム、備品の購入支援）

②各種の事業や取組みへの横断的な参画（優先的な勤務調整、時間外手当支給）

〈旭区西部地域包括支援センター〉
【2024年度方針】
地域包括ケアシステムの推進に向け、
「元気・笑　顔・安心」に満ちたまちづくりに取り組む

1．地域ケア会議の充実

①自立支援型ケアマネジメント検討会議の運営
②個別ケース会議の開催
③研修会への参加（職員のスキルアップ、困難ケースへの対応）

2．元気・笑顔・安心に満ちたまちづくりに取り組む

「元気」
①リズム体操継続、シルバーeスポーツへの取り組み
②健康意識の向上
③自立支援、重度化防止の意識の定着

「笑顔」
④高齢者の社会参加と生きがいづくり
⑤介護家族への支援

「安心」
⑥防災啓発・権利擁護の取り組み
⑦地域の見守り活動への協力
⑧ネットワークの強化

1. 地域ケア会議の充実

テーマ	取り組み	計画	担当
①自立支援型ケアマネジメント検討会議の運営	①外部助言者を招集し自立支援型ケアマネジメント検討会議を開催する ②小会議は主任介護支援専門員向け法定外研修として開催する ③検討会議で取りまとめた地域課題を区運営協議会へ報告する	4回 1～2回 1回	山口 八橋 嶋田
②個別ケース会議の開催	①各専門機関や住民組織とのネットワークを活用し、心身の重篤化の予防や権利擁護、課題解決へのスピードアップを図る ②外部講師による事例検証から、センターの対応力向上を図る	18回 1回	包括職員 包括職員
③研修会への参加	①各分野の知識を深める（認知症、精神医療、高齢者虐待、成年後見制度・8050問題・ヤングケアラー・多頭飼育問題・介護予防支援、ケアマネジメント） ②旭区内3地域包括共催による弁護士相談において、法的観点からのアドバイスやミニ講座を依頼する	通年 3回	包括職員 包括職員

2. 元気・笑顔・安心に満ちたまちづくりに取り組む

①リズム体操継続、シルバーeスポーツへの取り組み

テーマ	取り組み	目標	担当
運動、交流機会の創出	①介護予防教室「リズム体操」の継続実施	24回	宮脇 嶋田 坂本
	②シルバーeスポーツへの新たな取り組み	3回	河相 山口

②健康意識の向上

テーマ	取り組み	目標	担当
健康講座や介護予防への取り組み	①3師会と連携した区民対象の健康講座や健康相談会への共催及び協力	3回	包括職員
	②近隣病院との健康講座（体成分分析装置インボディ）	1回	嶋田
	③福祉用具事業所とAI歩行評価のコラボ開催	1回	山口
	④地域住民向け認知症講演会・相談会の開催及び協力	1回	宮脇
	⑤認知症ライブラリーの開催	1回	八橋

2. 元気・笑顔・安心に満ちたまちづくりに取り組む

③自立支援、重度化防止の意識の定着

テーマ	取り組み	計画	担当
自立意識を高める	①初回訪問時に自立、重度化防止を説明	随時	包括職員
	②自立支援及び社会資源を活用したケアプラン作成の指導	随時	包括職員

④高齢者の社会参加と生きがいづくり

テーマ	取り組み	計画	担当
高齢者の社会参加の実現	①地域住民へのニーズ聞き取りから、体制整備事業と新たな交流の場を協働する	通年	宮脇 坂本
	②スマートフォン講座の継続開催	3回	山口 嶋田
地域、関係機関との共催催事	①旭通り商店街との催事を立案、実施をする。	1回	河相

2. 元気・笑顔・安心に満ちたまちづくりに取り組む

⑤介護家族への支援

テーマ	取り組み	計画	担当
認知症の理解を深める	①若年性認知症をテーマにした映画上映会の開催 映画タイトル 「オレンジ・ランプ」	1回	宮脇 嶋田 坂本

⑥防災啓発・権利擁護の取り組み

テーマ	取り組み	計画	担当
防災意識の向上	①消防署と連携した防災・減災のミニ講座の実施 ②民生委員協議会での周知活動	1回 1回	河相 山口
消費者詐欺被害の防止	①警察署と連携した詐欺被害防止啓発事業の実施 ②民生委員協議会での周知活動	1回 1回	河相 山口
認知症高齢者等の権利擁護支援	①あんしんさぽーと、成年後見制度活用の支援 ②専門職及び地域住民に向け研修	随時 1回	包括職員 八橋 宮脇

2. 元気・笑顔・安心に満ちたまちづくりに取り組む

⑦地域の見守り活動への協力

テーマ	取り組み	計画	担当
要援護者の早期対応の体制作り	①地区民生委員と要援護者情報を共有 ②認知症声掛け体験（中宮地区）	毎月 1回	包括職員 包括職員
地域ネットワークとの連携	①各地区振興町会組織の会議参加にてつながりを維持	随時	河相

⑧ネットワークの強化

テーマ	取り組み	計画	担当
認知症高齢者等支援ネットワークとの連携	①旭区認知症地域支援事業（ほっとかんネット）による専門職・関係機関との連携強化 ②地域課題抽出会議にて関係者との課題の共有 ③認知症キッズサポーターの養成講座の支援	3回 1回 1回	包括職員 包括職員 八橋
高齢分野以外の機関との結び付き	①総合的な相談支援体制の充実事業 ②高齢・障がいサービス事業所との研修会の開催	随時 1回	包括職員 包括職員

⑧ネットワークの強化

テーマ	取り組み	計画	担当
在宅医療・介護連携、介護事業者との連携	◎在宅医療・介護連携 ・在宅医療・介護連携推進会議への継続参加 ・介護啓発動画の普及活動 ◎介護事業者 ・旭けあねっと開催支援 ・介護事業者連絡会への参加 ・グループホーム運営推進会議への参加 ・ケアマネジャーの資質向上に向けた研修の開催 ・自立支援に向けたケアマネジャーのニーズ調査	 随時 随時 12回 12回 24回 随時 1回	 嶋田 河相 河相 山口 河相 宮脇 八橋
地域貢献ネットワーク	◎看護課程養成実習（大阪公立大学） ◎所属商店街の定例会議への参加 ◎車いす無料貸出し事業	4人 10回 40回	嶋田 河相 ー

〈つぼみ保育園〉2024年度　方針

1. 安全な保育環境を設定し、こどもの命を守る。

①こどもの体質に応じて細やかな配慮をする。

②事故予防対策を徹底する。

③虐待や問題を抱えたこどもを守り育て、保護者支援をする

2. 保育・教育サービスを充実する。　→　利用者に選ばれる保育園

①こども主体の質の高い保育を行う。　ご利用者の満足度を高める

②豊かな感性を育む保育実践をする。

③こどもの人権を保障する保育提供をする。

④特別支援児童保育を拡充する。

3. 地域子育て世帯に対する支援を充実する。

4. 職員の定着と育成を強化する。　→　保育士に選ばれる保育園

①安定的な職員配置をする。　働きやすい職場、求人活動SNS活用。

②育成制度を構築する。　新ｽｷﾙﾁｪｯｸ導入する

③事務作業を軽減する。　ICTを活用する

1. 安全な保育環境を設定し、こどもの命を守る。

重点課題	具体的な方策	目　標	計画・担当
①こどもの体質に応じて細やかな配慮をする。	①特異体質児童に対して、個々に応じた配慮を欠かすことのないように保育する。 （心臓疾患、低出生体重児・慢性肺疾患 食物アレルギー児童　偏食児童（感覚過敏）児童が在園） ・児童のかかりつけ医療機関から情報収集をする。 ・保護者との連携を密にする。 ・成育歴を熟知する。 ・医療機関主催の研修に参加する。 ＊食物アレルギー児童に対する誤食事故が起こらないように、食事提供ルールを徹底する。ダブルチェック実施 全職員の情報共有する。代替食で対応する。	個々の成長を支援する。	4月～各担任 看護師
②事故予防対策を徹底する。	②保育安全衛生管理マニュアルを遵守する。 ②保育現場のリスクマネジメントを強化する。 ・あらゆる場面のリスクを想定及びリスト化する。 ・リスクの危険度や発生する状況を分析する。 ・具体的な対策を検討する。 ・ヒヤリハット記録内容をデータ化し、特徴や傾向を確認する。（いつ、どこで、誰が、何を　なぜ？どうしたか。） ・リスクマネジメントマニュアル（予防として気をつけるべき点）を盛り込む ・チェックリストを改善する。（記録と点検） ②さまざまな予想される事故において、 シミュレーション研修を実施し、緊急時対応の訓練を行う。その都度、役割分担と明確にする。	重大事故ゼロ ヒヤリハット内容（気づき）の情報共有し事故を防ぐ	毎月、クラス主任会議（安全対策会議）を実施する。 奇数月、実施する。

1. 安全な保育環境を設定し、こどもの命を守る。

重点課題	具体的な方策	目　標	計画・担当
②事故予防対策を徹底する。	＊保育の慣れが起こらないよう、危険意識を緩めない。 重大事故が発生しやすい状況とは ・お昼寝中の事故 ・昼食時やおやつの喉のつまり（誤嚥） ・園児の置き去り事故 ・プール・水遊び中の事故 ・園外保育中の事故 ・SIDS（乳幼児突然死症候群） 保育室の湿度・温度管理 寝具の点検　睡眠時、掛布団はお腹を保護する程度 睡眠中の呼吸チェック（５分毎） 保育士の手をあてて呼吸チェックする。眠りを深くしない。 寝ている時の体位チェック（５分毎） あおむけ寝　うつぶせ寝防止をする。全て記録に残す。 ICT活用した午睡チェック併用（新導入） ・誤嚥による事故防止策 食事の援助は、特定保育士が行う。（担当制） こどもの食事の分量、食べ方の癖や咀嚼力、 嚥下力の発達を熟知した保育士が対応する。 食事の摂取状況を記録する。 睡眠前の口腔内チェックをする。 ・園児の置き去り事故防止 職員間の連携が重要であり、活動が変わる際、 保育場所の移動の際、人数確認の徹底をする。 散歩マニュアル・散歩マップを活用する。	重大事故ゼロ ヒヤリハット内容（気づき）情報共有し事故を防ぐ	4月～各担任看護師 毎月、クラスミーティングで情報交換する。

1. 安全な保育環境を設定し、こどもの命を守る。

重点課題	具体的な方策	目　標	計画・担当
②事故予防対策を徹底する。	・プール・水遊び事故防止策 こどもに安全教育を実施する。 水遊び中は、必ず監視員をつける。 水遊び中は、こどもから目を離さないよう、職員が必ずプールに入る。 残留塩素濃度、水深、水温、外気温は適当かを確認し、日誌に記録する。 ・プール終了後には必ず水をぬく。 ・塩素などの薬品は、こどもの手の届かないところで管理する。 ＊救命講習・こどもの病気についての研修を受講する。	重大事故ゼロ	7月～各担任 看護師
③虐待や問題を抱えたこどもを守り育て、保護者支援をする	・虐待について こどもの異変に気づく。 保護者とのコミュニケーションを大切にする。 毎朝、視診、健康チェックを行う。 北部こども相談センターとの連携を行う。 ・適切な保育を行っているか 適切な保育活動ができるように、研修を重ねる。 保育士間で、こどもについて話し合う機会を多く設ける。 こどもの人権を守る保育ができているか、保育士間でチェックし合う。こどもへの言葉かけ等 保育ビデオ研修を定期的に行い、自身の保育を見直す 保育士のｱﾝｶﾞｰﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ研修の回数を増やす。 保育士間は、良好な関係を構築し、日頃から連携を活かせる保育を行い、　児童の命を守る。	虐待事案ゼロ	毎月、クラス主任会議（安全対策会議）を実施する。 虐待についての研修 3カ月に 1回実施

2. 保育・教育サービスを充実する。

重点課題	具体的な方策	目　標	計画・担当
利用者に選ばれる保育園を目指す ご利用者の満足度を高める ①こども主体の質の高い保育を行う。	①乳児→育児担当制保育を実行する。 特定保育士により、個々の生活リズムや成長発達に応じて、丁寧な育児活動を行う。 特定保育士が見守ることにより、個々のクセ等も十分に把握し、安全面への配慮をする。 愛着関係が構築し、こどもが安定した生活が送ることができる。 保育の技術力を高めるため、年2回のスキルチェックを実施する。 ①今年度は、再開される育児担当制保育研究会に参加し他園との情報交換を行い、他園実習等実現する。 ①幼児→ピラミーデ教育法に基づき保育実践。 遊びと学びの保育環境を充分に整える。 準備された遊びのコーナーのどこで遊ぶのか、自身で選択し、少人数のグループ、または一人で遊ぶ。 プロジェクト（テーマ保育） こどもの自主性（やる気）　保育者の自主性（働きかけ） 寄り添うこと（愛着理論）　距離をおくこと 月ごとのテーマに応じて保育環境を整える。	6月、2月 平均点95点を目指す。 全職員質の向上に努力し、評価点を上げる。 自己決定力を身につける。	評価者 里、加藤、大場 乳児担当 保育士 4月から　幼児クラス担任は、当番を決めてテーマ保育の環境を整える。

2. 保育・教育サービスを充実する。

重点課題	具体的な方策	目　標	計画・担当
利用者に選ばれる保育園を目指す ご利用者の満足度を高める ②豊かな感性を育む保育実践をする。	②外部講習によるカリキュラムを継続する。 キッズダンス、リトミック、科学遊び、体育、英語スクール、絵画教室、サッカー、スイミング等　プロから学ぶ。 ②様々な人との交流を深める。 高殿苑ご利用者とのふれあい　ご挨拶訪問　行事交流 地域の中学生との交流（職場体験受入・実習の受け入れ） 地域の未入園児との交流（一緒に遊ぶ）	こどもたちの表現力を養う。	幼児担任 4月から
	②ICTを活用した教育カリキュラムを実行する。 ちきゅうフレンズ　年間8カ国より　ＳＤＧｓを学ぶ 世界を知り、関心を持ち、友達を作る　オンライン交流 こどもたちが世界とのつながりを感じる。 ②知育アプリを取り込み、タブレットを使用して様々な体験する。 テーマ保育と連動して取り組む。 コーナー遊びの中にもタブレットを活用できるように 環境を整える。　4月　5歳児導入　　6月・・　4歳児導入 9月・・・ 3歳児導入　2月・・・ 5歳児発表力を身につける。 作品展に披露会　動く絵	創造力を発展させる。	ICT教科担当を決め、カリキュラムを実行する。
③こどもの人権を保障する保育提供をする。	③こどもの人権を保障する保育 「人が人として大切にされる権利」 「こども一人ひとりの人格を大切にする」こどもの主体性を育む。 食事の際には、量を自分で決める。←ビュッフェ形式の食事スタイル 自分で考えて行動できる力をつける。 こども会議の時間を設ける（5歳児）	ひとり一人のこどもの人権、人格を尊重し、愛情をこめて保育を行う。	人権保障保育ができているかチェックリストにより自己評価を行う（2か月に1回）

2. 保育・教育サービスを充実する。

重点課題	具体的な方策	目　標	計画・担当
利用者に選ばれる 保育園を目指す ④特別支援児童保育を拡充する。	④特別支援児童保育・教育は、個々に応じた援助計画を実践する。　年初4名⇒　5名 自閉症スペクトラム（5歳児 男児2名） 絞扼輪症候群　（5歳児 女児）義足着用 （右先天性内反足 左合指症、左下腿先天性切断両手先天異常） 第2種知的障がい（4歳児 男児1名） 保護者との信頼関係を築く。 療育ディー等　専門機関との連携を活かす。 年3回以上の個人面談を行う。 安全な保育環境を整備する。 落ち着いて活動できる居場所スペースを確保する。 全職員で、見守り、愛情いっぱいに保育する。 年度途中、地域のニーズ（特別支援児童）に対応できるように、職員体制を整える。 旭区保育園内でも特別支援児童保育においては実績が評価されている。今年度も地域の信頼度を高めていく。	個々の成長に合わせた丁寧な保育を行う。 年度途中より5名	加配担当保育士と担任により計画をたて、支援を行う。 4月から

3．子育て世帯に対する支援を充実する。

重点課題	具体的な方策	目　標	計画・担当
利用者に選ばれる保育園を目指す ①子育て相談機関の役割を果たす。 ②虐待・貧困などの問題を抱えたこども保護者を支援する。	①子育て世帯が相談しやすい支援活動を充実する。 子育て相談受付　毎日　電話対応可 利用者対面希望の場合　随時対応可 ②「あさひ子育て安心ネットワーク」の一員となり （保健福祉センター、社会福祉協議会、医師会、薬剤師会、歯科医師会、助産師会、学校園、保育所、民生委員児童委員協議会、地域自立支援協議会等） 地域の困りごと　虐待、貧困等の問題を抱えるこどもの支援活動を行う。 ②子育て支援活動のプログラムを増やす。 子育てサークル（のびのび）　園庭開放（にこにこ ベビーマッサージ　＊　体軸ﾍﾞﾋﾞｰ 青空サークル（パンダ公園） ママ・パパのリフレッシュ　イベント フラワーアレンジﾞメント　ネイル、ハンドケア　等 ＊ミニ運動会、夏祭り等 ＊親子ｸｯｷﾝｸﾞ開催 ＊「児童の居場所づくり」 夏休み・冬休みなど ＊虐待などに関する新たな資格 「こども家庭福祉ソーシャルワーカー取得支援	地域子育て支援活動の回数を増やす。 開催目標 12回以上 利用人数 120人以上 地域の子育て支援ネットワークの中心的な役割を担う。	5月～ 里、加藤 小田 栄養士 調理員

4. 職員の定着と育成を強化する。

重点課題	具体的な方策	目　標	計画・担当
保育士に選ばれる保育園 ①安定的な職員配置をする。 働きやすい職場、求人活動SNS活用。	①国基準1歳児6:1　→5:1(当園) 4.5歳児　30:1→25:1(76年ぶりに改正) 以前より25:1配置で保育体制で運営していた。 引き続き、柔軟な職員体制を構築し、保育士は、心のゆとりをもち保育できる環境を整える。 保育士の確保に努力を継続する。 ＊リフレッシュ休暇を増やす。 ＊休憩代替保育士雇用　土曜日専任保育士雇用 ＊有休消化率を上げる。 ＊会議の効率化を図る。 ＊HPを活用して、積極的な求人活動を行う。 ＊養成校への訪問学生説明会・就職フェアに参加する。	年間通して予備保育士を確保する。	山邉
②育成制度を構築する。 新ｽｷﾙﾁｪｯｸ導入する	②新人事制度に向けて、新ｽｷﾙﾁｪｯｸ票を導入する。 クラス主任の育成計画を作成し、面談回数を増やす。 自身のキャリア計画を明確にし、支援する。 ②キャリアアップ研修の受講（8項目）　全職員　対象 1. 乳児保育　2. 幼児教育　3. 特別支援児童保育 4. 食育アレルギー対応　5・保健衛生・安全対策 6. 保護者支援・子育て支援 7. 保育実践　8. マネジメント保育士	質の高い保育提供ができるよう、人材育成をする 2024年中に、個々に、5項目以上は受講する。	大場里加藤 山邉
③事務作業を軽減する。 ICTを活用する	③保育士の業務の効率化を図る。 本格的に、当降園管理システムを稼働する。 ③児童の記録、デジタル化を目指す。 延長保育日数計算、写真購入、給食日数等、事務作業を簡略化する。		山邉

以 上